

J Rの業務外注化を止めるためのニュースです。感想や意見、現場の情報などをお寄せ下さい。(メール) dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

京葉線 ドア全開で時速100km

安全よりダイヤと利益のJR

J R西船橋駅で4月10日午前8時30分ごろ、東京駅行きの京葉線普通電車(8両編成)のドア戸袋に乗客の手荷物が吸い込まれ、閉まらなくなりました。

朝のラッシュアワーで代替列車が手配できなかったため、応急処置で開いたままのドアをシート(緊締幕)でふさいで運行。ドア全開のまま9駅24キロを最速100キロで走行、東京駅到着後さらに西船橋駅まで乗客を乗せて運行しました。

日本経済新聞 4月15日 月曜日 English 中文

Web刊 速報 ビジネスリーダー マーケット マネー テクノロジー ライフ スポーツ 朝

全て : 経済 : 企業 : 国際 : 政治 : 株・金融 : スポーツ : 社会 : その他ジャンル▼

速報 > 社会 > 記事

ドア閉まらず幕覆い走行 JR京葉線、ラッシュ時

2013/4/11 13:05

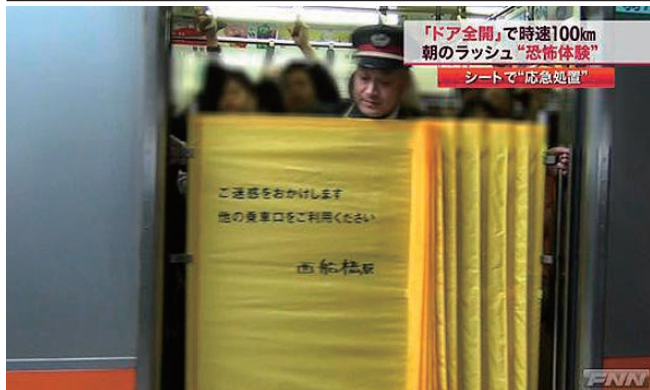
小 中 大 保存 印刷 リプリント 共有

JR京葉線の西船橋駅(千葉県船橋市)で、10日朝の通勤ラッシュの時間帯に電車のドアが閉まらなくなる不具合があり、ドアの場所に幕を覆った状態で西船橋—東京間(片道約24キロ)を往復していたことが分かった。

JR東日本は安全確保のためドアの前に社員1人を配置。「乗客への影響を考え、速やかな運転再開が必要と判断した。社内規定にある方法で、安全性に問題はない」(千葉支社)としている。

同社によると、10日午前8時半ごろ、西船橋駅に停車した府中本町発東京行きの普通電車(8両編成)で、4両目のドアに乗客のリュックサックのひもが引き込まれて閉まらなくなった。西船橋駅で13分間停車した後、ドアの場所に黄色い幕を覆って発車した。

当時、上りの車内は新聞を開いて読めない程度の混み具合だった。乗客を後続電車や他の車両に移動させることはなかった。



マスコミも「恐怖体験」と報道していますがまったく考えられない事態です。JR東日本は乗客の安全をどう考えているのか? 運休どころか車両閉鎖も行わずに乗車率200%を超える大混雑の中でドア全開のまま荒川鉄橋やカーブも走行したのです。

「駅員をドア代わりに発車」とも報道されていますが労働者の安全確保はどうなっているのか。

J R東日本の安全綱領には「安全は輸送業務の最大の使命」「疑わしいときは、最も安全と認められるみちを採らなければならない」と書いてあります。しかし、現実には安全に対する感覚はまったく転倒しています。

「安全よりダイヤが優先」「運休は許されない」——まもなく05年4月25日の福知山線脱線事故(尼崎事故)から8年となりますが、こういう考えが107人の生命を奪ったのではないか。

「安全より利益」。これが外注化問題にも貫かれているJRの発想なのです。